



ごが

No.127

議会だより

平成25年6月1日発行 発行／五霞町議会 編集／議会広報編集特別委員会 〒306-0392／茨城県猿島郡五霞町大字小福田1162-1 ☎0280-84-1138



五霞西小5年生 田植え風景

● 3月定例会	2～5
● ここが聞きたい一般質問（5議員）	6～10
・ 上船渡橋の現況と安全確保について	
・ 結婚サポート事業について	
・ 幸手・境線バイパスの整備促進について	
・ 教育の現状について	
・ 少子化による人口減少の対策は	
・ TPP問題をどう考えるか	
・ 森林湖沼環境税の継続について	
・ 圏央道とIC周辺開発の進捗状況は	
・ 中央公民館の耐震・リニューアルの検討は	
・ 空き家等の適正管理を図る対策は	
● 第2回臨時会・町議会役職構成一覧表	11
● 議会トピックス・議会の流れ・次回定例会	12

平成25年度予算等を認定

一般会計 39億3000万円 特別会計25億2950万円

平成25年第1回定例会が、3月1日から15日までの15日間の会期で開催されました。

本定例会では、平成25年度各会計予算をはじめ、条例の改正及び平成24年度一般会計・特別会計補正予算等29件の議案等が提出され、全ての議案が原案のとおり可決されました。

これに先立ち、総務文教委員会、経済建設委員会が開かれ、関連議案について審議されました。

また、3月5日・6日・7日の3日間にわたり予算特別委員会が開かれ、平成25年度の各会計予算について集中審議されました。



会計別予算規模

(単位:千円、%)

会 計 名			25 年度予算額	24 年度予算額	増減額	増減率
一般会計			3,930,000	3,814,000	116,000	3.0
特別会計	国民健康保険特別会計		1,170,000	1,105,000	65,000	5.9
	後期高齢者医療特別会計		146,500	141,000	5,500	3.9
	介護保険事業特別会計		668,000	598,000	70,000	11.7
	公共下水道事業特別会計		365,000	340,000	25,000	7.4
	農業集落排水事業特別会計		180,000	164,000	16,000	9.8
	小 計		2,529,500	2,348,000	181,500	7.7
合 計			6,459,500	6,162,000	297,500	4.8
水道事業会計	損 益	収 入	417,870	437,697	△ 19,827	△ 4.5
		支 出	417,478	436,767	△ 19,289	△ 4.4
	収 入	収 入	113,800	9,600	104,200	1,085.4
		支 出	348,829	220,596	128,233	58.1

平成25年度第1回定例会で可決された議案は下記のとおり。

承認第1号	専決処分の承認について（平成24年度五霞町一般会計補正予算（第6号）） 歳入歳出それぞれ53万8千円の追加補正
議案第4号 総	五霞町新型インフルエンザ等対策本部条例 五霞町新型インフルエンザ等対策本部に関し、監視組織や会議等、必要な事項を定める条例の制定
議案第5号 経	五霞町水道事業の布設工事監督者の配置及び資格並びに水道技術管理者の資格に関する条例 条例で定める布設工事及び当該工事の監督者の資格並びに水道技術者の資格について定める条例の制定
議案第6号 総	五霞町個人情報保護条例の一部を改正する条例 法律改正に伴う条例の一部改正
議案第7号	五霞町特別職の職員で常勤のものの給与及び旅費に関する条例の特例に関する条例の一部を改正する条例 町長：前年度に引き続き月額給与の20%減額 （実施期間：平成25年4月1日から平成26年3月31日）
議案第8号	五霞町教育委員会教育長の給与、勤務時間その他勤務条件に関する条例の特例に関する条例の一部を改正する条例 教育長：前年度に引き続き月額給与の10%減額 （実施期間：平成25年4月1日から平成26年3月31日）
議案第9号 総	五霞町地域自立支援協議会設置条例の一部を改正する条例 法律改正に伴う条例の一部改正
議案第10号 経	五霞町中小企業事業資金あっ旋条例の一部を改正する条例 1企業に対する保証金額の最高限度と保証期間の最長期限の変更及び条文中「あっ旋」を「あっせん」に変更
議案第11号 経	五霞町下水道条例の一部を改正する条例 法律改正に伴う条例の一部改正
議案第12号 経	岩井・境都市計画五霞町公共下水道事業受益者負担に関する条例の一部を改正する条例 法律改正に伴う条例の一部改正
議案第13号 経	五霞町道路占用料徴収条例の一部を改正する条例 法律改正に伴う条例の一部改正
議案第14号	五霞町消防団員の定員、任免、給与、服務等に関する条例の特例に関する条例の一部を改正する条例 消防団員年間報酬：前年度に引き続き5%減額 （実施期間：平成25年4月1日から平成26年3月31日まで）
議案第15号 総	五霞町原宿台コミュニティセンターの指定管理者の指定 所在地：五霞町原宿台4丁目12番地2 指定期間：平成25年4月1日から平成28年3月31日
議案第16号 総 経	平成24年度五霞町一般会計補正予算（第7号） 歳入歳出それぞれ1億8,985万7千円を追加補正
議案第17号 総	平成24年度五霞町国民健康保険特別会計補正予算（第3号） 歳入歳出それぞれ2,162万円を追加補正
議案第18号 総	平成24年度五霞町後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号） 歳入歳出それぞれ381万1千円を追加補正
議案第19号 総	平成24年度五霞町介護保険事業特別会計補正予算（第3号） 歳入歳出それぞれ327万円を減額補正
議案第20号 経	平成24年度五霞町公共下水道事業特別会計補正予算（第3号） 歳入歳出それぞれ465万円を減額補正

議案第 21 号 (経)	平成 24 年度五霞町農業集落排水事業特別会計補正予算(第 3 号)
	歳入歳出それぞれ 215 万円を追加補正
議案第 22 号 (経)	平成 24 年度五霞町水道事業会計補正予算(第 4 号)
	(収益的収入及び支出) 収入△ 711 万 1 千円(資本的収入及び支出) 収入△ 289 万 1 千円 支出△ 163 万 1 千円 支出△ 771 万 8 千円
発議第 1 号	五霞町議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の特例に関する条例の一部を改正する条例
	議員報酬: 前年度に引き続き 10% 減額 (実施期間: 平成 25 年 4 月 1 日から平成 26 年 3 月 31 日)
発議第 2 号	五霞町議会予算特別委員会の設置
	地方自治法第 110 条及び五霞町議会委員会条例第 4 条に基づき設置
選挙第 1 号	茨城県後期高齢者医療広域連合議会議員一般選挙
	広域連合議会議員の任期満了に伴い、青木武明議員を選出

(経) = 総務文教委員会付託 (経) = 経済建設委員会付託 △ = 減額

常任委員会 Q & A

3 月 4 日に総務文教委員会・経済建設委員会にて審議のあった質疑の主な内容は次のとおりです。

Q 農業集落排水処理施設には脱臭施設の設置その他臭気の発散を防止することとなっていますが、臭いが生じた場合は。

A 上下水道課に連絡していただき、委託業者にバキューム処理をするよう依頼します。

Q 公債費の年間利子が 2% を超えているものを繰り上げ償還するということが、その件数は。

A 公債比率を下げる必要があることから、町の減債基金の積立 3 億円を取り崩して、12 件の繰り上げ償還を考えております。

Q 病害虫防除補助金を当初より減額するということが、内容は。

A 水田作付面積約 65

0 ヘクタールが対象で、そのうち申請件数 416 件で 44・08% が箱苗消毒を実施していますが予算残額の 100 万円の減をお願いするものです。

Q キックコマン・ソイフーズが事業を開始することによる平成 25 年度の水需要の見通しは。

A 4 月については仮運転ですが、5 月から本運転になると思われるので、5 月には月量 1500 トン、6 月頃からは毎月 5100 トンを見込んでいます。

Q 新型インフルエンザ対策等となっているが等とは何か。

A インフルエンザ以外の健康に重大な影響を与える恐れがあるもので、今までにワクチン等が開発されていないような新型、新感染症のことです。

Q 新型インフルエンザ等の対策本部を設置する必要性をどこが判断するのか。

A 国が緊急事態宣言を発令した場合は、必ず対策本部を設置することになります。市町村が必要であることを独自に判断した場合も設置することができま。

Q 法律の名称が障害者自立支援法から障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律に改正されますが、具体的にどのような変わるのか。

A 今までの法律では障害者の規定の中で対象外になってしまう病気・難病の方がおりました。今回の改正で障害者の範囲の中に難病等が追加されています。

Q 原宿台コミュニティセンターは指定管理者制度で運営されていますが、このメリットは。

A 平成 17 年度から指定管理を実施しており、原宿台行政区は、施設管理の実績及び事業運営のノ

ウハウもあり、町といったしましても、指定管理により、地域住民のサービスの向上や施設運営などの経費の削減が図られているところ。

Q 土木費の町道 8 号線の予算 2550 万円を繰り越すとありますが、この財源の内訳は。

A 国の補正予算の復興防災対策という費用から手当てされ、補助率が 55% となっており、通常の補助率より高くなっています。



予算特別委員会Q&A

3月5日・6日・7日の3日間にわたり、予算特別委員会を開催し、平成25年度各会計予算を集中審議しました。

以下は主な質疑の内容です。

Q 中・長期的な財政展望を出していくことが必要ではないか。

A I・C周辺開発、上下水道や道路関係のほか、公民館や役場などの施設も老朽化していることから、今後どのくらいの財政負担を求められるか精査して、財政計画を立案していきたいと考えています。

Q 平成25年度の地方交付税の算定は、国家公務員と同様に給与削減を実施することを前提としているが、町職員給与についての考えは。

A 地方も国家公務員の給与7・8%削減と同様に要請されているが、今まで職員定数削減や給与

分を予算計上しました。

Q ふれあいセンターの施設老朽化に伴う大規模修理工事について。

A 財源は、国及び県の補助を含めて、3600万円で見込んでおり、今年の7月から9月の3か月間で発注をしたい。

Q 町民税（個人・法人）と固定資産税の合計が前年比6%減の見込みの理由は。

A 予算案作成時は、政権交代間際であり、景気動向が良くなかったことから、町民税については、それを反映した予算となつています。また、固定資産税は、家屋の評価替えで価値が下落する時期に差し掛かっていることから、同様に控えめな予算となつています。

Q 成年後見人制度の法人後見支援事業が新しい事業として始まりますが、内容について。

A 成年後見人には、個人、法人を問わずなれることから、まず法人に対して、後見人になつても

らうための研修を実施する事業です。

Q 民生委員児童委員の活動について、実情をどのように把握しているのか。

A 定例会を毎月第3水曜日に開催し、各種事業の説明や勉強会等を行っています。また、県や日本赤十字社主催の研修会のほか、地域で様々な活動に参加しております。

Q 定年を迎えた方などが、野菜作りができるような耕作地を借りられる制度はあるか。

A 現在のところ、個人に小規模な耕作地をお貸しするという制度はないので、今後どのようなことができるか検討していきたい。

Q 圏央道や強化堤防工事等により、町道を大型車が通行する回数が増えています。それに伴う道路の補修について、国の補助はありますか。

A 国の事業で町道を通行する場合は、協議書で工事の取り決めを定めていますので、その中で

道路の補修が必要になれば、当然補修をお願いしていきます。

Q 小学校の理科支援員2名については、授業の前後に実験の準備、後片付けを主にされている方ですか。

A そのとおりです。理科に関する知識・経験のある方をお願いしています。なお、平成25年度は授業時間を増やして拡大充実を考えています。

Q 65歳以上の介護保険対象になる人口と現在介護認定を受けている人数は。

A 65歳以上の町の人口は、平成25年2月末現在で、2243名、認定者数は、349名です。

Q 若い世代に介護に対する認識を深めてもらうために、学習的なものを取り入れていくべきでは。

A 地域包括支援センターで介護教室を開催しています。参加については、女性が中心となっており、若い世代の参加が増えるように考えていきたい。また、リハビリ体操の指導者養成についても継続的に実施していきたい。



ふれあいセンター



伊藤 正子 議員

問 上船渡橋の現況と安全確保について

答 定期的な点検と補修を実施し 安全確保に努める



現在の上船渡橋（土与部から幸手方面）

問 生活圏を埼玉側に委ねている町民の通行路にかかる上船渡橋の安全管理、通勤・通学渋滞時間の対策、県整備促進事業の進捗状況は。

町長 上船渡橋は昭和36年に作られ、老朽化による安全性の確保が心配され、対策としてバイパス整備を進めています。所管する杉戸県土整備事務所では、平成20年に補修を行い、日常点検等により安全確保していただいております。本路線は、幸手駅・工業団地の乗り入れ、幅広い利用に供して重要な路線であり、幸手市と連携した同盟活動

を通じて早期に解消できるようにバイパスの開通を目指して事業を進めてまいります。

建設環境課長 50余年の期間が経過して老朽化による安全性が懸念されており、杉戸県土整備事務所により、架設以降10年以上経過した15メートル以上の橋梁については点検を実施し、平成20年度に橋のつなぎ目にあります伸縮装置の修繕を行っています。定期的なパトロール、目視等による点検を実施し安全確保に努めていると伺っております。

問 事業を新たに設けた背景、町独自のプラン、他の自治体に呼びかけイベントの開催、町への婚姻届件数、カップルになつて町に在住の特典は。

副町長 少子化が進み高齢化と併せて大きな社会問題となっています。社会を挙げて取り組みなければならぬ課題です。少子化の要因としては、仕事と子育ての両立を支援する雇用環境の整備や、育児休業中の経済的な支援などに加え、未婚化、晩婚化の進行があり、この背景には、男女の出会いの場が減少していることが挙げられます。未婚晩婚化の流れを変えられる施策として「いばらき出会いサポートセンター」を中心として結婚サポート体制作り

を進めています。

町民税務課長 町では、平成12年度に結婚相談員制度を設け、ふれあいバスツアーを企画しましたが、参加者が集まらず事業が中止になった経緯がございます。市町村単位で企画しても参加者が集まらないという状況であることから、平成25年度の新規事業として、結婚サポート事業につきましては、県の事業を活用して推進していくものです。結婚相談、パートナー紹介においては、会員登録していただき会費1万5000円（3年間有効）、個人のプライバシーも確保されていることから、成婚の実績も上がっております。また、若者の出会いの相談や仲介等を行うマリッジサ

問 結婚サポート事業について

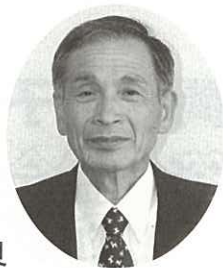
答 サポート体制づくりを含め 近隣市町村と連携を検討したい

ポーターを町としては今年度10名の方を目標に連絡会をつくり活動を行っていききたい。平成24年度婚姻届の件数は、3月5日現在で24件です。近隣市町村で「婚活イベント」を積極的に展開しているところもあるので連携等を検討し、祝金支給事業に代わる特典については、他市町村の例を参考にしながら検討してまいります。



その他の質問

町中のごみ収集について



問 幸手・境線バイパスの整備促進について 答 早期開通が図られるよう、両県知事に強く要望していきたい

大久保 帝二 議員



けやき通り(原宿台)から中川方面への工事予定地

問 幸手・境線バイパス道路の具体的な整備計画は。町長 路線事業は埼玉・茨城両県知事への事業促進要望活動の中で行っています。茨城県議会土木企業委員会の調査時にも一番に優先して要望しております。未整備区間の用地買収は茨城県側で約98%になっております。また、新橋の詳細設計を踏まえ中川を起点とした直近の県道、下吉羽幸手線までの区間を優先的に進めてほしいと強く要望しております。

今後、五霞町から中川新橋を経由し幸手市の県道下吉羽幸手線までの一部区間の早期開通が図られるよう、引き続き幸手市と連携し、両県知事への要望、さらには関係機関との調整を図ってきたい。

問 用地買収に関わる整備計画等を含めた今年度の予算は。

建設環境課長 用地買収については、まず茨城県側のけやき通りから中川までの区間ですが、買収率が98%の進捗となっております。残り1件ですが、事業に対しては協力的で、その残地の取り扱いについて要望が出されているために、現在、県で調整しております。また、埼玉県側ですが、埼玉県知事に対しては、特に要望を行っており、また中川から県道下吉羽幸手線の区間の用地買収につきましては約70%の進捗で、残りは1件と伺っております。

また、今年度の五霞町での県の予算は、4800万円です。

問 新橋の詳細設計は。建設環境課長 新橋の詳細設計につきましては、平成22年度に完了したとの報告をいただきましたが、先の震災で急遽見直しということで、橋梁の設計指針の改正に伴い、現在、構造の見直し、一部修正を検討中と伺っております。

問 具体的な工事計画は。建設環境課長 けやき通りを抜ける整備区間は875メートルです。けやき通りから中川直近の町道59号線(土与部から幸手主へ向かう道路)まで、軟弱地盤の解析業務

が実施されています。来年度以降、盛り土工事並びに農業用パイプラインの布設替え工事に着手する予定です。残りの中川までの区間につきましては、埼玉県側の進捗状況を勘案しながら対応してまいります。

問 教育の現状について 答 いじめが発生したら、迅速に解決するよう対応している

問 いじめや体罰が社会問題となっています。町の教育の現状について。

教育長 体罰は法的に禁止されている行為で、絶対にあってはなりません。それからいじめの問題。これは人権侵害に関わる問題なので、学校・教育委員会としても非常に神経を使っております。いじめが起きた場合には、その実態を家庭、保護者と一体となつて、その原因を突き止めて、早急に解決するというこ

とで取り組んでおります。

問 いじめや体罰等の実態について。

教育次長 町内3校とも毎月いじめに関するアンケート調査を実施しております。この調査により3校で21件のいじめが報告されました。その内容は、悪口、仲間外れ、物を隠すなどの事案です。各校ともいじめが発覚した場合、正副担任や生徒指導教諭等により教育相談を速やかに実施し、い

じめ問題を迅速な解決方法で対応しております。

次に体罰ですが、体罰の実態把握に関する調査を教員、児童生徒、保護者を対象に実施しましたところ3校で12件の事案が報告されました。その多くは、子どもたちがふざけ過ぎたときなどに注意喚起の意味で肩を叩いたといった事案です。これらの件につきましては、保護者も全て体罰として認識しておらず問題化には至っておりません。

問 少子化による人口減少の対策は 答 総合的な施策で、魅力ある 町づくりを進める

樋下 周一郎 議員



問 今年度から取り組む結婚サポート事業の内容は。

町民税務課長 平成18年度から県では、いばらき出会いサポートセンターを設立、会員制でのパートナー探しのお手伝い、ふれあいパーティー等の開催を行っています。

会員の登録状況は、平成25年1月1日現在3317人で、成婚数は累計で943組、ふれあいパーティーの開催は、平成24年度で225回、町においては、平成25年度マリッジサポーターを募集します。

町長 この事業を取り入れることで、出会いの機会が増えることを願っています。近隣の市町とも連携し、予算も検討していきたい。

問 少子化対策としての事業と予算はどのような内容か。

健康福祉課長 子育て支援等に関する事業は（平成23年度）子ども手当事業から母子保健事業まで、16事業あります。事業費の総額は

3億3300万円、国、県と町で支出し、町が1億37万円です。

問 町の人口は、総合計画の平成32年に9200人を上回るスピードで減少してないか。この問題は、もっと危機感を持って事業に取り組んでいていただきたい。また、町の中に活性化協議会的な機関を常設して、総合的にそれぞれの施策を検討していくことが必要ではないか。

町長 町の人口が年間100人前後、減少している状況です。庁内に政策会議を設置して重点施策を検討してまいりました。新規事業も取り入れながら、これらの課題に引き続き取り組んでいきたい。また、町の優れたまちづくりを進めていくということが、何よりも重要ではないかと考えています。



問 TPP問題をどう考えるか 答 現状での交渉参加に対して賛成できない

問 TPP問題は、町の農政にも大きな影響を与えていると思いますが、町長としての考えは。

町長 情報を開示して、国益については、国民的な合意を作るべきだと思います。生産現場においても大変戸惑い不安を感じていることから、農業・畜産・酪農分野においてはTPP交渉参加に対して賛成しかねます。

28・7%、一等米の比率は、昨年より14%の減になっています。価格は前年より上昇しています。

問 一等米の比率が減少した原因は、害虫のカメムシにあると思いますが対策は。

町長 病害虫防除協議会で、箱苗消毒に助成していますが、今後はカメムシに効く新しい農薬についても検討したい。

問 カントリーエレベーターの老朽化対策は。



カントリーエレベーター



水稲作付風景

問 道の駅を中心とした野菜等の生産力は高まっているか。

町長 後継者対策等、今年度新たな事業を実施しますが、当然指導員の人材も配置しながら、指導体制の確立をしていきます。



宇野 進一 議員

問 森林湖沼環境税の継続について 答 県と協力し住民の理解と 周知徹底に努める

問 課税継続についての目的、改正内容は。

町長 森林湖沼環境整備が十分に改善されず、課題が残ることから、今後、更なる5年間の延長を決定しました。

町民税務課長 納税内容等については前回と同様で、県民税の均等割に計算する方式で、税率は個人が年額10000円、法人が法人県民税均等割の10%です。

問 これまでの事業経過と実績について。

町民税務課長 森林保全整備関係に約41億円、湖沼・河川保全整備関係に約36億9000万円です。また、効果として3万7000炭素トンの炭素吸収量の増加や、排出汚濁負荷量、CODで299トン、全窒素で162トン、全リンで12・9トンの削減をしています。

問 五霞町への補助事業については。

産業課長 平成20年度に、公民館南側の竹林整備を実施しています。補助費用として29万7千円、また、平成22年度に

は学校林等の整備として、東西小学校に合わせ100万円の補助を受けています。内容は、茨城県産の木材を使用したベンチ、テーブルの設置、ミカン等の記念植樹などです。

問 今後の事業計画等について。

町民税務課長 今後5年間の本税充当額として森林保全整備関係に40億円を予定しています。また、引き続き炭素吸収量の削減に効果を見込んでいます。

問 事業内容等、住民納税者に対して、今回も周知徹底が不十分であったと思うが。

町長 本税については、特定課税とする目的税的性格を有し、多くの町民の方に税の使い道や効果についてご理解をいただくことが大切だと思います。また、五霞町で取り組む事業も少ないことから、実施要領の見直しを含め県に要望していきたい。今後の取り組みについては県と協力して周知の方も徹底していききたい。

問 圏央道とI-C周辺開発の進捗状況は

答 五霞I-C開通は平成25年度以降

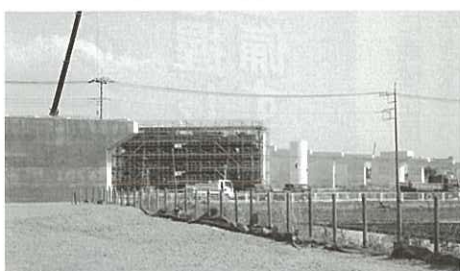
問 五霞町及び近隣する圏央道の進捗状況について。

建設環境課長 久喜白岡ジャンクションから幸手I-C区間は、約99%の用地取得率で、上部工中心の工事施工中です。五霞I-Cから境I-C区間は約99%の用地取得率で、地盤改良及び下部工中心の工事施工中です。

町長 町内の用地は全て買収済みで、埼玉県より五霞I-Cまでの区間については、平成25年度以降の早期開通を目標として、また、五霞I-Cから猿島岩井I-Cまでの区間については、平成26年度以降の開通目標であるが、更なる事業促進が図られるよう、強く要望していきます。

問 I-C周辺開発事業の進捗状況について、計画の概要等は。

町長 新4号国道に接続する圏央道I-C周辺地区、約38ヘクタール区域への企業誘致を図り地域経済の浮揚と、道の駅等と連携した街の振興、発展に資する事業として現在進めています。



圏央道工事現場（江川地内）

市街化区域へ編入し、土地区画整理事業の認可取得予定です。

問 関係機関との調整状況は。

建設環境課長 農林水産省関東農政局との事前協議が完了し、都市計画手続きと基本設計、事業計画を並行して進めています。

問 今後の状況について。

建設環境課長 新年度の取組みとして、企業誘致パンフレットの作成と組合設立準備委員会の運営補助を予定しています。また、業務代行者の決定、基本協定書の仮締結を行い、事業実施の確実性を整理していきます。なお、事業完了については、平成28年度を目標としています。

問 中央公民館の耐震・リニューアルの検討は 答 役場庁舎の改修とあわせ 検討委員会を立ち上げる



青木 正彦 議員



耐震補強が求められる中央公民館

問 3・11大震災後の私の議会質問で、耐震診断の結果、補強が求められている中央公民館の整備をどうするのかお尋ねしたところ、「建て替えを含め検討する」との答弁でした。どのような検討がされましたか。

町長 公民館は、生涯学習の拠点施設として多くの方の利用はもちろん、避難所としての役割もあることから「建て替えを含め検討する」と本会議において答弁しました。早急な耐震リニューアル工事の必要性は認識しています。役場庁舎の改修も緊急課題となっており、IC周辺開発等の財政事情も控えております。

財務課長 中央公民館の耐震リニューアル関係は、通常の補助事業が該当しないことから単独事業になります。国の災害事業や大型補正予算では該当する事業が見当たりませんが、財務課において有利な財源の確保に努めたいと思います。

問 核家族化・少子高齢化が進む中で、一般民家の空き家が増え、空き地を含めその管理が放置されている状況がみられます。防火・防犯や環境保全の上から、他人事として放置できないと思います。現状の実態把握を進め、問題のある空き家等に対する適正管理を図る対策が求められると思います。

町長 全国的に空き家等が増加しており、防災、防犯、環境上の観点から問題になっています。これらを放置しておくことは、常時無人であるため管理不全による老朽化が一層進みますし、倒壊や建築材の飛散の危険性、火災や犯罪の発生の恐れがあると思われます。今後、各行政区長を中心

問 空き家等の適正管理を図る対策は
答 実態を把握し、適切な管理へ
体制を整備する

に地域住民の協力を得て空き家等の実態把握に努め、所有者が適切な管理をできる体制づくり、そのための条例制定の必要性も視野に、その対応策について、検討をして参りたいと思います。

総務課長 平成20年の総務省による住宅・土地統計調査によると、空き家数は全国で756万戸、住宅全体の13・1%、茨城県は14・6%と全国平均を上回っております。五霞町の空き家数については、統計上の数字は非公開扱いとなっており、把握しておりませんが、役場独自による各種台帳等のデータから約100戸程度と推定しております。

所有者の管理状態では、平成24年に本町で建物火災4件、その他火災4件があり、その中には空き家が1件含まれており、原因は不明となっております。

環境面では、隣地の空き地の除草、害虫駆除等の苦情が近隣住民から寄せられています。そうした情報が提供された場合には、土地所有者等を確認し、「五霞町空地等の雑草の除去に関する条例」に基づき、また、農地の耕作放棄地などは、農業委員会による農地パトロール等を実施し、適正に管理するよう所有者への指導を行っています。

今後、空き家の実態を把握し、その結果をもとに、条例制定の検討を含め、具体的な対応策を検討して参りたいと考えています。

平成25年第2回臨時会が開催されました

平成25年5月15日、平成25年第2回臨時会が開催され、次の議案等が原案のとおり全会一致にて可決されました。

なお、可決された議案等は次のとおりです。



質問する青木議員

承認第2号	専決処分の承認について（平成24年度五霞町一般会計補正予算（第8号） 歳入歳出それぞれ7,440万1千円を追加補正
承認第3号	専決処分の承認について（五霞町税条例の一部を改正する条例） 法律改正に伴う条例の一部改正
承認第4号	専決処分の承認について（五霞町国民健康保険税条例の一部を改正する条例） 法律改正に伴う条例の一部改正
議案第30号	五霞町基金条例の一部を改正する条例 個別に規定されている基金条例を廃止し、本条例に一本化することにより基金の種別の明確化を図るための条例の一部改正
議案第31号	字の区域の変更について 地方自治法第260条第1項の規定により、町内の字の区域を変更

五霞町議会役職構成一覧表

（平成25年5月15日現在）

役 職 名		人数	氏 名
議 長		1名	青木武明
副 議 長		1名	青木正彦
常任委員会	総務文教委員会	5名	◎ 藤沼喜義 ○ 青木正彦 宇野進一 大久保帝二 伊藤正子
	経済建設委員会	5名	◎ 鈴木喜一郎 ○ 樋下周一郎 青木武明 横田勝利 板橋英治
議会運営委員会		5名	◎ 横田勝利 ○ 宇野進一 樋下周一郎 鈴木喜一郎 藤沼喜義
広報編集特別委員会		6名	◎ 大久保帝二 ○ 伊藤正子 樋下周一郎 板橋英治 青木武明 青木正彦
町議会堤防強化事業対策特別委員会		9名	◎ 宇野進一 ○ 藤沼喜義 横田勝利 樋下周一郎 鈴木喜一郎 青木正彦 大久保帝二 伊藤正子 板橋英治
町 監 査 委 員		1名	大久保帝二
さしま環境管理事務組合議員		3名	青木武明 鈴木喜一郎 藤沼喜義
利根川栗橋流域水防事務組合議員		2名	樋下周一郎 大久保帝二
茨城西南地方広域市町村圏事務組合議員		2名	横田勝利 宇野進一

◎委員長 ○副委員長

議会トピックス

町村議会議員自治研究会

平成25年2月19日（火）、茨城県内12町村で組織する町村議会議長会主催の標記研究会が水戸市の茨城県市町村会館において開催され、全体では131名の議員が参加、五霞町では議員全員が参加しました。

研究会は、2名の講師による講演会が行われました。

1人目は、子ども家庭教育フォーラム代表、教育・心理カウンセラーの「富田富士也」氏による「議員は町のカウンセラー、住民相談に生かす聞き方入門」という演題で、「議員は住民との相談活動に力を入れるべきであり、これからは聞くのがうまい議員が必要である」との話をされ、非常にこれからの議員活動の参考となりました。

2人目は、熊本県阿蘇山の近くで、風の丘美術館館長である「大野勝彦」氏による「夢は叶うもの、思い強ければ」という演題で行われました。

大野勝彦氏は、現在69歳ですが、45歳の時に農



作業中、機械により両腕を切断してしまい、その後、義手により今まで書いたことのない絵や詩を書き集め、10年前には美術館まで開館したそうです。演題のとおり、思いを強く行動をすれば、夢は叶うものであるということに強く心を打たれました。

議会の流れ

3月1日	第1回定例会初日
3月4日	総務文教委員会
"	経済建設委員会
3月5日	予算特別委員会
3月6日	予算特別委員会
3月7日	予算特別委員会
3月12日	一般質問
3月15日	第1回定例会最終日
3月22日	議会全員協議会
4月8日	議会運営委員会
4月10日	広報編集特別委員会
4月22日	議会全員協議会
5月7日	広報編集特別委員会
5月8日	議会運営委員会
"	議会全員協議会
5月15日	第2回臨時会
5月16日	広報編集特別委員会
5月24日	議会運営委員会
"	議会全員協議会

次回定例会

6/7(金)～6/13(木)

皆さんの傍聴をお待ちしております。

一般質問は6月11日（火）・12日（水）予定

問い合わせ先（質問議員・テーマ・時間等）

TEL・FAX 0280-84-1138

編集後記

新年度が明けて約2か月が経過して、新しい職場や学校・学級などにようやく慣れたところになるかと思えます。

新しい環境においても、先生や先輩・後輩との関係は必ずあるものですが、残念なことに昨年度から学校やスポーツ界において、体罰が大きな社会問題となつています。3月13日付で文部科学省から体罰についての参考事例が出ていますが、指導的立場の者が、いくらより良く成長してほしいがためと思つても、いつの時代においても体罰は許されるものではないことは言うまでもありません。

ただ思うことは、いつの時代であつても初心と謙虚さを忘れないようにしていきたいものです。

（編集委員 大久保 帝二）

